

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
英語コミュニケーション I	[外国語]

履修学科	普通科
履修学年	第1学年
履修単位	3単位
教科書	Power On English Communication I Revised (東京書籍)
副教材	なし

科目目標
<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域（以下この節において「五つの領域」という。）別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

学期	考查	単元名 (考查範囲)	学習活動	評価の観点			SDGs
				①	②	③	
1学期	課題考查	新入生課題 等	中学校の学習内容を復習して、高校レベルの学習に備える	○			
	期末考查	Lesson 1 Japan's New Tourism	・日本文化と日本の新しい観光業について ・動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞＋動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解する	○	○		13 14 15
		Lesson 2 Light from Creatures	・光る生き物の生態について ・受け身、現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解する				
		Lesson 3 One Small Goal at a Time	・米国の大リーグで活躍する吉田正尚選手についての新聞記事 ・不定詞、S+V+O[that節]、動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解する				
		Lesson 4 Miniature Life	・ミニチュア写真家、見立て作家である田中達也さんの紹介とインタビューの雑誌記事 ・後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解する	○	○	○	

2学期	課題考査	夏季休業中の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期に学んだ内容を復習する ・夏季休業中の課題に取り組む 	○			
	中間考査	Lesson 5 Banana Paper	<ul style="list-style-type: none"> ・バナナペーパーがザンビアの村の人々の暮らしに与えた変化と、日本の伝統技術の貢献 ・関係代名詞（主格）、関係代名詞（目的格）、S+seem+to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解する 	○	○		15
		Lesson 6 Patterns in Human Behavior	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の興味深い行動パターンに関する実験の手順や結果 ・It+be動詞+形容詞+that節、S+V[be動詞以外]+C、S+V+O+C[形容詞]を用いた文の形・意味・用法を理解する 				10
	期末考査	Lesson 7 No Plastic or No Future	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみによる海洋汚染について ・関係副詞 where、関係副詞 when、関係代名詞 what を用いた文の形・意味・用法を理解する 				
Lesson 8 Oh My Cod!		<ul style="list-style-type: none"> ・フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史、食料資源についてのイギリス人留学生による発表 ・現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解する 	○	○	○	14、2	
3学期	課題考査	冬季休業中の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期に学んだ内容を復習する ・冬季休業中の課題に取り組む 	○			
	学年末考査	Lesson 9 Is E-sports a Real Sport?	<ul style="list-style-type: none"> ・世界中の若者の間で人気が出てきているeスポーツの実況中継 ・S+V[知覚]+O+C[現在分詞、原形不定詞]、S+V[使役]+O+C[原形不定詞]、S+V+O₁+O₂[ifなどの節]を用いた文の形・意味・用法を理解する 	○	○	○	
		Lesson 10 Never Too Late to Learn and Relearn	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイナー、アーティストの篠原ともえさんと彼女がデザインしたエゾ鹿革の着物についての雑誌記事 ・wish+仮定法過去の節、仮定法過去のif節、仮定を表すwithout句を用いた文の形・意味・用法を理解する 				16

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・ 知識</p> <p>「英語の特徴やきまりに関する事項（単語・文法・構文）を理解しているか」</p> <p>そのためには、日々の復習が大切です。</p> <p>・ 技能</p> <p>「コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題について書かれた（話された）英語を捉え、情報や考え、意図を伝える技能を身に付けているか」</p> <p>失敗を恐れずに英語を使いましょう。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>各種考査、単元テスト、小テスト 等</p>	<p>「コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的话题について必要な情報を聞き（読み）取り、相手の意図などを捉え、情報や考え、気持ちを伝えていくか」</p> <p>丁寧に相手に自分の意見を丁寧に伝えること、即興でやりとりすることも大切です。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>各種考査、単元テスト、パフォーマンステスト、プレゼンテーション 等</p>	<p>「社会に目を向け、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いようとしているか」</p> <p>授業態度はもちろん、小テストの点数や課題の提出状況といった学習に取り組む姿勢も評価されます。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>考査、単元テスト、小テスト、学習態度、提出物、振り返りシート、ポートフォリオ 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）

[取り組み方について]

普段の学習を大切にしていくことで英語力は向上します。考査前の学習だけで詰め込んでも、後に自分の力になりません。日々の予習→授業→復習で身につけた基礎があって初めて、英語力が身に付いていきます。

まずは、「語彙力は英語力」と言われるほど、多くの単語を知ることが大切です。また、英語の学習は「量より質」です。予習を欠かさないでください。自分では分からないことや疑問に思うことを確認した上で授業に臨めば、授業への集中力が増し、理解も深まっていきます。また、理解したことを定着させるための復習では、必ず音読を取り入れてください。耳と口を使って英語に触れることが、英文を理解するだけでなく、英語が自然と口から出てくる第一歩にもなります。

さらに、皆さんを取り巻く社会情勢にもアンテナを高くし問題意識をもつことが、英文を読む上で大きな助けになります。ニュースに耳を傾け、新聞にも目を通せるようになってください。

そして最後に、たくさん英語を書いて話して失敗を重ねることが英語上達への近道です。間違いを恐れずに、英語を使ってたくさん発表・表現していきましょう。

[成績について]

1 各単元終了後に行う単元テスト、定期考査、パフォーマンス課題、授業への取り組み態度をもとに評価する。

2 学習への取り組みが不十分な場合、進級だけでなく、部活動の大会出場も難しくなる。

[その他]

1 忘れ物をした場合は、必ず授業開始までに教科担任に申し出ること。

2 保健室利用等で授業に参加できない場合は、必ず事前に教科担任に申し出ること。

3 提出物については、期限厳守とする。大会出場等で提出期限に間に合わないと事前に分かっている場合は、必ず事前に教科担任に申し出ること。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
論理・表現 I	[外国語]

履修学科	普通科
履修学年	第1学年
履修単位	2単位
教科書	MY WAY Logic and Expression I New Edition (三省堂)
副教材	なし

科目目標
<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの三つの領域別に設定する 目標の実現を目指した指導を通して、第1款の (1) 及び (2) に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の (3) に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

学期	考査	単元名 (考査範囲)	学習活動	評価の観点			SDGs
				①	②	③	
1 学期	課題考査	新入生課題 等	中学校の学習内容を復習して、高校レベルの学習に備える	○			
	期末考査	Lesson 1 Let's Talk about Ourselves	・現在形 (be動詞・一般動詞) ・初対面のあいさつ・スピーチ ・過去形 (be動詞・一般動詞)、現在/過去進行形 ・自己紹介	○	○		4
		Lesson 2 School Life					
		Lesson 3 The Arts	・未来表現、基本時制のまとめ ・アートのおもしろさを伝える	○	○	○	2
	Lesson 4 Food and Culture	・現在完了形、現在完了進行形 ・料理注文、日本の食文化のレポート					
課題考査	夏季休業中の課題等	・1学期に学んだ内容を復習する ・夏季休業中の課題に取り組む	○				
2 学期	中間考査	Lesson 5 Welcome to Our Town	・助動詞、受動態 ・道案内、地域の特徴についての発表	○	○		11
		Lesson 6 Traveling Abroad	・不定詞 ・買い物での会話、友達へのメール				10
	期末考査	Lesson 7 Sports	・動名詞、分詞の後置修飾、分詞構文 ・スポーツの試合についての会話	○	○	○	3
		Lesson 8 Future Mobility	・比較 ・賛成意見、反対意見について				9

3 学 期	課題 考 査	冬季休業中の課題 等	・2学期に学んだ内容を復習する。 ・冬季休業中の課題に取り組む。	○			
	学 年 末 考 査	Lesson 9 Take Care	・関係代名詞 ・病院での会話、健康についての発表				3
		Lesson 10 Technology Changes Our Lives	・関係副詞、仮定法 ・科学で実現できる夢について語り合う	○	○	○	3、5、 13、15
※		1年間の学習の振り返り					

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・ 知識 「情報や考え、意図などを理由とともに書いて（話して）伝えるために必要となる語句や文法を理解しているか」 必ず予習をして授業で理解し、身に付けていきましょう。</p> <p>・ 技能 「情報や考え、意図などを、展開を工夫して、場面や状況に応じて相手に伝えられているか」 会話や発表、自由英作文など、場面に合った英語を使えるようにしましょう。</p> <p>【評価の対象】 各種考査、単元テスト、小テスト 等</p>	<p>「聞き手（読み手）が理解しやすいように、情報や考え、意図などを理由とともに話して（書いて）伝えているか」 ただ英語を話したり書いたりしても、相手に伝わらなければ意味がありません。授業で得たノウハウを用いて、相手の立場になって英語で意見を伝えましょう。</p> <p>【評価の対象】 各種考査、単元テスト、パフォーマンステスト、プレゼンテーション 等</p>	<p>「聞き手（読み手）が理解しやすいように、情報や考え、意図などを理由とともに話して（書いて）伝えようとしているか」 ペア活動やグループ活動への取り組みの姿勢、課題提出状況も重要な評価の対象となります。</p> <p>【評価の対象】 各種考査、単元テスト、小テスト、学習態度、提出物、振り返りシート、ポートフォリオ 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）

<p>【取り組み方について】 基本的な取り組み方は、「英語コミュニケーションⅠ」に書いているものと変わりません。「論理・表現Ⅰ」では、「やり取り」「発表」「書くこと」の3つの技能に焦点を当てて英語力を高めていきます。英語を使って論理的に相手に自分の思いを伝えることや、状況や場面にに応じて、適切に意見を伝えることが必要です。</p> <p>主な学習内容としては、文法事項をしっかりと学習した後に、エッセイを書いたり、プレゼンテーションをしたり、友人とコミュニケーションを図ったりします。どの活動にも、正しい文法を身につけることが必須です。英語で文を作るときには、①まずは自分で考え、②辞書や参考書を見て書き直し、③【正しい解答で確認して理解し、④その英語を実際に使うことが大切です。英語の上達には、たくさんの実践と失敗を重ねることが不可欠です】。間違いを恐れずに、英語を使ってたくさん発表・表現していきましょう。</p> <p>【成績について】 1 各単元終了後に行う単元テスト、定期考査、パフォーマンス課題、授業への取り組み態度をもとに評価する。 2 【学習への取り組み】が不十分な場合、進級だけでなく、部活動の大会出場も難しくなる。</p> <p>【その他】 1 忘れ物をした場合は、必ず授業開始までに教科担任に申し出ること。 2 保健室利用等で授業に参加できない場合は、必ず事前に教科担任に申し出ること。 3 提出物については、期限厳守とする。大会出場等で提出期限に間に合わない事前に分かっている場合は、必ず事前に教科担任に申し出ること。</p>

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
英語コミュニケーション I	[外国語]

履修学科	総合学科
履修学年	第1学年
履修単位	5単位
教科書	Revised Amity English Communication I (開隆堂)
副教材	なし

科目目標
<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域 (以下この節において「五つの領域」という。) 別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

学期	考查	単元名 (考查範囲)	学習活動	評価の観点			SDGs
				①	②	③	
1 学期	課題考查	新入生課題 等	中学校の学習内容を復習して、高校レベルの学習に備える。	○			
	中間考查	GET READY 1~4	・学校での学習や活動、地域での活動/質問する、共感する ・数字、文字、品詞				15
		Lesson 1 The Beautiful Scenery	・お気に入りの場所についてやり取りしたり、まとめたものを発表したりする。 ・be動詞・一般動詞の現在形	○	○		10
		Lesson 2 My Best Friend	・日常生活についてやり取りしたり、大切にしている人についてまとめて発表したりする。 ・be動詞・一般動詞の過去形				
	期末考查	Lesson 3 Love for Dance	・得意なことなどについてやり取りしたり、写真を見て状況をまとめて発表したりする。 ・進行形/助動詞	○	○	○	
		Lesson 4 The Capsule Toys	・動物に関することについてやり取りしたり、好きな生き物についてまとめて発表したりする。 ・不定詞				
2 学期	課題考查	夏季休業中の課題 等	・1学期に学んだ内容を復習する。 ・夏季休業中の課題に取り組む。	○			
	中間考查	Lesson 5 The History of Chocolate	・健康のためにしていることなどについてやり取りしたり、誰かへの贈り物についてまとめて発表したりする。 ・動名詞	○	○		
		Lesson 6 A Dog Trainer	・好きな教科などについてやり取りしたり、子どもの頃から好きなことについてまとめて発表したりする。 ・比較 (原級・比較級・最上級)				

3 学 期	期 末 考 査	Lesson 7 Serendipity	<ul style="list-style-type: none"> 訪れたことがある場所などについてやり取りしたり、身近なセレンディピティについてまとめて発表したりする。 現在完了 	○	○	○		
		Lesson 8 Sapeurs	<ul style="list-style-type: none"> 最近驚いたニュースなどについてやり取りしたり、平和のためのメッセージについてまとめて発表したりする。 受動態 					
	課 題 考 査	冬季休業中の課題 等	<ul style="list-style-type: none"> 2学期に学んだ内容を復習する。 冬季休業中の課題に取り組む。 	○				
	学 年 末 考 査	Lesson 9 Is Santa Real?	<ul style="list-style-type: none"> おすすめの映画などについてやり取りしたり、将来挑戦したいことについてまとめて発表したりする。 分詞の形容詞的用法 	○	○	○		
		Lesson 10 Clean Water	<ul style="list-style-type: none"> お気に入りの曲などについてやり取りしたり、開発途上国への支援について賛成・反対の立場で意見をまとめて発表したりする。 関係代名詞 					
	※	tupera tupera	<ul style="list-style-type: none"> 絵本の内容やおもしろかった点などについて、やり取りする。 					

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 知識 「単語・文法・構文を理解しているか」 そのためには、日々の復習が大切です。 技能 「コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題について書かれた（話された）英語を捉え、考えや気持ちを伝える技能を身に付けているか」 失敗を恐れずに英語を使いましょう。 <p>【評価の対象】 各種考查、単元テスト、小テスト 等</p>	<p>「コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題について必要な情報を聞き（読み）取り、相手の意図などを捉え、考えや気持ちを伝えているか」</p> <p>丁寧に相手に自分の意見を丁寧に伝えること、即興でやりとりすることも大切です。</p> <p>【評価の対象】 各種考查、単元テスト、パフォーマンステスト、プレゼンテーション 等</p>	<p>「社会に目を向け、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、英語を用いようとしているか」</p> <p>授業態度はもちろん、小テストの点数や課題の提出状況といった学習に取り組む姿勢も評価されます。</p> <p>【評価の対象】 各種考查、単元テスト、小テスト、学習態度、提出物、振り返りシート、ポートフォリオ 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）

〔取り組み方について〕

普段の学習を大切にしていくことで英語力は向上します。考查前の学習だけで詰め込んでも、後に自分の力になりません。日々の予習→授業→復習で身につけた基礎があって初めて、英語力が身に付いていきます。

まずは、「語彙力は英語力」と言われるほど、多くの単語を知ることが大切です。また、英語の学習は「量より質」です。予習を欠かさないでください。自分では分からないことや疑問に思うことを確認した上で授業に臨めば、授業への集中力が増し、理解も深まっていきます。また、理解したことを定着させるための復習では、必ず音読を取り入れてください。耳と口を使って英語に触れることが、英文を理解するだけでなく、英語が自然と口から出てくる第一歩にもなります。

さらに、皆さんを取り巻く社会情勢にもアンテナを高くし問題意識をもつことが、英文を読む上で大きな助けになります。ニュースに耳を傾け、新聞にも目を通せるようになってください。

そして最後に、英語は失敗を重ねることで上達します。間違いを恐れずに、英語を使ってたくさん発表・表現していきましょう。

〔成績について〕

- 1 各単元終了後に行う単元テストおよび定期考查を中心に評価する。
- 2 学期ごとの成績は、定期考查の点数（中間＋期末）と日々の取り組みを換算する。
- 3 日々の取り組みは授業ノート・プリント、課題提出、小テスト、各種考查の訂正、授業への取り組み等を総合的に判断し、学期ごとに換算する。
- 4 評価が基準点未満の場合、進級だけでなく、部活動の大会出場が難しくなる。

〔その他〕

- 1 忘れ物をした場合は、必ず授業開始までに教科担任に申し出ること。
- 2 保健室利用等で授業に参加できない場合は、必ず事前に教科担任に申し出ること。
- 3 提出物については、期限厳守とする。大会出場等で提出期限に間に合わないと事前に分かっている場合は、必ず事前に教科担任に申し出ること。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
英語コミュニケーションⅡ	[外国語]

履修学科	普通科
履修学年	第2学年
履修単位	4単位
教科書	Power On English Communication II (東京書籍)
副教材	英単語帳

科目目標
<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

学期	考査	単元名 (考査範囲)	学習活動	評価の観点			SDGs
				①	②	③	
1学期	課題考査	春季休業中の課題	1年生で学習した内容の復習、定着	○	○		
	期末考査	Lesson 1 Play Me、 I'm Yours	・ストリートピアノ設置の経緯の紹介 ・助動詞 / 受け身等 / SVC				11
		Lesson 2 Ethical Fashion Lesson 3 One for All、 All for One	・エシカルな活動についての発表 ・SVOC(形容詞) / 使役表現 / 知覚動詞 ・有名人について調べ、発表 ・現在完了形、過去完了形、仮定法過去	○	○	○	1、2、8 17
2学期	課題考査	夏季休業中の課題	文法や長文読解に取り組む。単語帳を利用して語彙の定着にも努める。	○	○		
	中間考査	Lesson 4 Vending Machines	・自動販売機について発表 ・関係代名詞				9、12
		Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue	・ブレイルノイエについて発表 ・SVO(分詞 / if節 / that節)	○	○	○	4
		Lesson 6 New Banknotes	・キャッシュレス社会についての意見交換 ・形式主語・目的語it				9

3 学 期	期末 考 査	Lesson 7 Some Secrets about Colors	・色の心理的効果についての意見交換 ・関係代名詞、接続詞				4
		Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Problem	・ユニークな製品の詳細を発表する ・強調構文、関係副詞	○	○	○	1、6
	課題 考 査	冬季休業中の課題	文法や長文読解に取り組む。単語帳を利用して語彙の定着にも努める。音読の提出を求める。	○	○		
	学年 末 考 査	Lesson 9 Flying after Her Dreams	・米国女性の就労問題について発表 ・譲歩、仮定法、分詞構文				5
		Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	・生活に役立つロボットについて発表 ・過去完了進行形、未来完了形	○	○	○	8、9
	※	Going Home					

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・ 知識 「情報や考え、意図などを理由とともに書いて（話して）伝えるために必要となる語句や文法を理解しているか」 必ず予習をして授業で理解し、身に付けていきましょう。</p> <p>・ 技能 「情報や考え、意図などを、展開を工夫して、場面や状況に応じて相手に伝えられているか」 会話や発表、自由英作文など、場面に合った英語を使えるようにしましょう。</p> <p>【評価の対象】 各種考査、単元テスト、小テスト 等</p>	<p>「聞き手（読み手）が理解しやすいように、情報や考え、意図などを理由とともに話して（書いて）伝えているか」 ただ英語を話したり書いたりしても、相手に伝わらなければ意味がありません。授業で得たノウハウを用いて、相手の立場になって英語で意見を伝えましょう。</p> <p>【評価の対象】 各種考査、単元テスト、パフォーマンステスト、エッセイ 等</p>	<p>「聞き手（読み手）が理解しやすいように、情報や考え、意図などを理由とともに話して（書いて）伝えようとしているか」 ペア活動やグループ活動への取り組みの姿勢、課題提出状況も重要な評価の対象となります。</p> <p>【評価の対象】 各種考査、単元テスト、小テスト、エッセイ、提出物、振り返りシート 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）

[取り組み方について]

英語力は向上に必要なことは、**日々の授業→復習→実践**です。身につけた基礎文法、単語を用いて自分でスピーチをする、エッセイを書くことで学習内容が定着します。授業やテスト、スピーキングテストなどで皆さんの学習成果を確認します。また、単語帳を導入することで、皆さんの英単語の知識をより増やしてもらいます。単語量が少なければ読むこと、書くこと、話すことの内容も乏しくなりますので、どんどん英単語を覚えていきましょう。

また、家に帰ってから洋楽を聴く、洋画を字幕付きで見ると、海外の Youtuber の動画を見るなど、日々の生活で英語に触れることが上達につながります。

そして最後に、たくさん英語を書いて話して失敗をしなければ英語は上達しません。授業内外で英語をたくさん使い、検定の取得や、英語能力の習得に積極的にチャレンジしましょう。

[成績について]

- 1 学期ごとの成績は、定期考査の点数を観点別に計算、提出物や学習態度を加えます。
- 2 音読、スピーキングテスト、ペアワークなどのパフォーマンスも重要な評価材料です。
- 3 宿題は欠かさず提出するように心がけましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
論理・表現Ⅱ	[外国語]

履修学科	普通科
履修学年	第2学年
履修単位	2単位
教科書	MY WAY Logic and Expression II (三省堂)
副教材	なし

科目目標
<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

学期	考査	単元名(考査範囲)	学習活動	評価の観点			SDGs
				①	②	③	
1学期	課題考査	春季休業中の課題	1年生で学習した内容の復習、定着	○	○		
	期末考査	Lesson 1 I Love My Country! Lesson 2 The New Wave of Sports Lesson 3 The Future of Technology	・現在完了形、過去完了形 ・未来を表す表現 ・助動詞表現 ・助動詞の完了形 ・受動態 ・不定詞①	○	○	○	4、9
	課題考査	夏季休業中の課題	2年生の1学期に学習した内容の復習・定着	○	○		
2学期	中間考査	Lesson 4 Rediscover Kabuki Lesson 5 Will Our Lives Change with AI? Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife	・不定詞② ・知覚動詞、使役動詞 ・動名詞 ・分詞構文 ・比較① ・比較②	○		○	4、9、15
	期末考査	Lesson 7 Can We Go and Live on Mars? Lesson 8 Language and Society	・関係代名詞、関係副詞① ・関係代名詞、関係副詞② ・仮定法① ・仮定法②	○	○	○	4、9

3 学 期	課題 考 査	冬季休業中の課題	2年生の2学期に学習した内容の復習・定着	○	○		
	学 年 末 考 査	Lesson 9 Send Our Love to the World Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps	<ul style="list-style-type: none"> ・ 否定の表現 ・ 代名詞を使った表現 ・ 無生物主語構文 ・ thatを使った表現 	○	○	○	4、17
	※		1年間の学習の振り返り				

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識 「情報や考え、意図などを理由とともに書いて（話して）伝えるために必要となる語句や文法を理解しているか」 必ず予習をして授業で理解し、身に付けていきましょう。 ・ 技能 「情報や考え、意図などを、展開を工夫して、場面や状況に応じて相手に伝えられているか」 会話や発表、自由英作文など、場面に応じた英語を使えるようにしましょう。 <p>【評価の対象】 各種考査、単元テスト、小テスト 等</p>	<p>「聞き手（読み手）が理解しやすいように、情報や考え、意図などを理由とともに話して（書いて）伝えているか」 ただ英語を話したり書いたりしても、相手に伝わらなければ意味がありません。授業で得たノウハウを用いて、相手の立場になって英語で意見を伝えましょう。</p> <p>【評価の対象】 各種考査、単元テスト、パフォーマンステスト、エッセイ 等</p>	<p>「聞き手（読み手）が理解しやすいように、情報や考え、意図などを理由とともに話して（書いて）伝えようとしているか」 ペア活動やグループ活動への取り組みの姿勢、課題提出状況も重要な評価の対象となります。</p> <p>【評価の対象】 各種考査、単元テスト、小テスト、エッセイ、提出物、振り返りシート 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）
<p>[取り組み方について]</p> <p>基本的な取り組み方は、「英語コミュニケーションⅡ」に書いているものと変わりません。「論理・表現Ⅱ」では、「<u>話すこと（やり取り）</u>」「<u>話すこと（発表）</u>」「<u>書くこと</u>」の3つの技能を伸ばしていくことを目的としています。「話すこと（やり取り）」においては学習した語句や文を用いて考え、意図を伝え合ったりします。「話すこと（発表）」においては、聞いたり読んだりしたことを通して、様々な語句や文を用いてディベートやディスカッションを行います。「書くこと」においては論理的に展開を考えながら英語で自分の考えや意図を伝えます。授業内では①授業で学んだことを記録する、②復習する、③復習した内容を用いて自分の考えや意図を伝える このサイクルを大切にしてください。</p> <p>[成績について]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学期ごとの成績は、定期考査の点数を観点別に計算、提出物や学習態度を加えます。 2 音読、スピーキングテスト、ペアワークなどのパフォーマンスも重要な評価材料です。 3 宿題は欠かさず提出するように心がけましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
英語コミュニケーションⅡ	[外国語]

履修学科	総合学科
履修学年	第2学年
履修単位	2単位
教科書	Amity English Communication II (開隆堂)
副教材	なし

科目目標
<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域(以下この節において「五つの領域」という。)別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

学期	考査	単元名(考査範囲)	学習活動	評価の観点			SDGs
				①	②	③	
1学期	課題考査	春季休業中の課題	1年生で習った語彙や文法事項の確認をするための課題に取り組み、新教科書でのスタートの準備をする。	○	○		
	期末考査	Lesson 1 Okinawa	・沖縄の魅力 ・be動詞、一般動詞現在形、助動詞の復習				14
		Lesson 2 The History of Japanese Food	・日本食の歴史 ・過去形、助動詞の復習	○	○	○	2
		Lesson 3 Volunteer Work	・高校生のボランティア活動 ・不定詞、受動態の復習				10、17
2学期	課題考査	夏季休業中の課題	文法・語彙の定着を図る。読み物にも触れることで、英語長文を読むスタミナを身に付ける。 音読を活用してリスニング、スピーキング力を養う。	○	○		
	中間考査	Lesson 4 Gacha-gacha	・ガチャガチャ ・SVOO / SVOC	○	○	○	9

3 学 期	期末 考 査	Lesson 5 Interesting Aquariums	・おもしろ水族館 ・形式主語・形式目的語	○	○	○	6、 14
	課題 考 査	冬季休業中の課題	文法・語彙の定着を図る。読み物にも触れることで、英語長文を読むスタミナを身に付ける。音読を活用してリスニング、スピーキング力を養う。	○	○		
	学年 末 考 査	Lesson 6 The Relay of Ahmed's Life	・アハメドくんの命のリレー ・知覚動詞・使役動詞	○	○	○	3、 16

* Lesson 7 以降は3学年で実施予定

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・ 知識 「情報や考え、意図などを理由とともに書いて（話して）伝えるために必要となる語句や文法を理解しているか」 必ず予習をして授業で理解し、身に付けていきましょう。</p> <p>・ 技能 「情報や考え、意図などを、展開を工夫して、場面や状況に応じて相手に伝えられているか」 会話や発表、自由英作文など、場面に応じた英語を使えるようにしましょう。</p> <p>【評価の対象】 各種考査、単元テスト、小テスト 等</p>	<p>「聞き手（読み手）が理解しやすいように、情報や考え、意図などを理由とともに話して（書いて）伝えているか」 ただ英語を話したり書いたりしても、相手に伝わらなければ意味がありません。授業で得たノウハウを用いて、相手の立場になって英語で意見を伝えましょう。</p> <p>【評価の対象】 各種考査、単元テスト、パフォーマンステスト、エッセイ 等</p>	<p>「聞き手（読み手）が理解しやすいように、情報や考え、意図などを理由とともに話して（書いて）伝えようとしているか」 ペア活動やグループ活動への取り組みの姿勢、課題提出状況も重要な評価の対象となります。</p> <p>【評価の対象】 各種考査、単元テスト、小テスト、エッセイ、提出物、振り返りシート 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）
<p>[取り組み方について]</p> <p>英語力は向上に必要なことは、日々の授業→復習→実践です。身につけた基礎文法、単語を用いて自分でスピーチをする、エッセイを書くことで学習内容が定着します。授業やテスト、スピーキングテストなどで皆さんの学習成果を確認します。授業中で学習した文法、単語は、家に帰ってから復習することで、学習内容を定着させることができます。</p> <p>また、家に帰ってから洋楽を聴く、洋画を字幕付きで見る、海外の Youtuber の動画を見るなど、日々の生活で英語に触れることが上達につながります。</p> <p>そして最後に、たくさん英語を書いて話して失敗をしなければ英語は上達しません。授業内外で英語をたくさん使い、検定の取得や、英語能力の習得に積極的にチャレンジしましょう。</p> <p>[成績について]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学期ごとの成績は、定期考査の点数を観点別に計算、提出物や学習態度を加えます。 2 音読、スピーキングテスト、ペアワークなどのパフォーマンスも重要な評価材料です。 3 宿題は欠かさず提出するように心がけましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
英語コミュニケーションⅢ	[外国語]

履修学科	普通科
履修学年	第3学年
履修単位	文系5単位、理系4単位
教科書	Power On English CommunicationⅢ（東京書籍）
副教材	スタディサプリ School Weblio

科目目標
<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

学期	考査	単元名（考査範囲）	学習活動	評価の観点			SDGs
				①	②	③	
1学期	課題考査	春季休業中課題	長文読解問題と英作文または、文法問題とリスニングに取り組む。	○	○		
	期末考査	Lesson 1 Library of the Future	・理想の図書館についての発表 ・分詞構文・関係詞where				4
		Lesson 2 History Maker Otani Shohei Lesson 3 Zoo Dentists	・スポーツ選手になりきってインタビュー ・be動詞+to不定詞 ・興味のある職業についてインタビュー ・比較・原形不定詞	○	○	○	17 8、3
	課題考査	夏季休業中の課題	文法や長文読解に取り組む。単語帳を利用して語彙の定着にも努める。音読の提出を求める。	○	○		
2学期	中間考査	Lesson 4 Nature Photographer in Alaska	・お気に入りの写真について発表 ・関係詞非制限用法・分詞構文				14
		Lesson 5 A science Award That Makes You Laugh, and Then Think	・ポスターを使った発表 ・過去完了進行形・受け身	○	○	○	4、9
	Lesson 6 Where Does Halloween Come from?	・ハロウィーンについて意見交換 ・ディスコースマーカー				16	
期末考査	Lesson 7 Will 3D Printing Technology Change the World?	・3Dプリンターについて意見交換 ・事実と意見	○	○	○	9、11	
	Lesson 8 A Conductor of the Underground Railroad	・難民を救うためのポスターを作り発表 ・ディスコースマーカー				4、5、10	

3 学 期	課題 考 査	冬季休業中の課題	文法や長文読解に取り組む。語彙の定着にも努める。	○	○		
	卒業 考 査	Lesson 9 English, Always Growing Lesson 10 Understanding the Culture of Dogs	・様々な英語について発表 ・ディスコースマーカー ・犬と猫について意見交換 ・ディスコースマーカー	○	○	○	4 17

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 知識「英語の特徴やきまりに関する事項（単語・文法・構文）を理解しているか」 技能「コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題について書かれた（話された）英語を捉え、情報や考え、意図を伝える技能を身に付けているか」 <p>失敗を恐れずに英語を使いましょう。</p> <p>【評価の対象】 各種考査、単元テスト、小テスト、スピーチ、プレゼンテーション等</p>	<p>「コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題について必要な情報を聞き（読み）取り、相手の意図などを捉え、情報や考え、意図を伝えているか」</p> <p>丁寧に相手に自分の意見を丁寧に伝えること、即興でやりとりすることも大切です。</p> <p>【評価の対象】 各種考査、単元テスト、リテリング、スピーチ、プレゼンテーション等</p>	<p>「社会に目を向け、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いようとしているか」</p> <p>授業態度はもちろん、小テストの点数や課題の提出状況といった学習に取り組む姿勢も評価されます。</p> <p>【評価の対象】 考査、単元テスト、小テスト、スピーチ、提出物、振り返りシート等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）
<p>[取り組み方について]</p> <p>毎日英語に触れることで英語力は向上します。日々の授業→復習で身につけた基礎があって初めて、身に付いていきます。また、英語の学習は「質より量」です。復習を欠かさないでください。文章を理解したら、必ず音読をしてください。耳と口を使って英語に触れることが、文法構造を理解するだけでなく、スピーキングやリスニングなど、全ての技能に役に立ちます。</p> <p>また、皆さんを取り巻く社会情勢にもアンテナを高くし問題意識をもつことが、英文を読む上で大きな助けになります。ニュースに耳を傾け、新聞にも目を通せるようになってください。</p> <p>そして最後に、たくさん英語を書いて話して失敗をしなければ英語は上達しません。間違いを恐れずに、英語を使ってたくさん発表・表現していきましょう。</p> <p>[成績について]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学期ごとの成績は、定期考査の点数を観点別に計算、提出物や学習態度を加えます。 2 リテリングや音読、エッセイやプレゼンテーションなどのパフォーマンスも重要な評価材料です。 3 小テストや単元テスト、日々題への取り組みの積み重ねも非常に重要です。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
論理・表現Ⅲ	[外国語]

履修学科	普通科
履修学年	第3学年
履修単位	2単位
教科書	MY WAY Logic and ExpressionⅢ (三省堂)
副教材	Bright Stage スタディサプリ

科目目標
英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、(3)に示す資質・能力を育成する。
(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	考査	単元名(考査範囲)	学習活動	評価の観点			SDGs
				①	②	③	
1 学期	考査 課題	春季休業中の課題	長文読解・英作文、英文法演習に取り組む。	○	○		
	期末考査	Lesson 1 Survey Results	・動詞の種類 [Presentation]				4
		Lesson 2 Writing an Email	・時制 [Writing]	○	○	○	11
		Lesson 3 Writing a Blog	・助動詞 [Writing]				11
考査 課題	夏季休業中の課題	文法事項演習により、重要表現を身に付ける。	○	○			
2 学期	中間考査	Lesson 4 Describing Activities	・不定詞・動名詞 [Presentation]				13
		Lesson 5 Suggesting What to Buy	・分詞・分詞構文 [Presentation]	○	○	○	16
		Lesson 6 Making a Proposal	・比較 [Presentation]				16
	期末考査	Lesson 7 Making a Speech	・関係詞 [Presentation]	○	○	○	7
		Lesson 8 Writing an Invitation	・仮定法 [Writing]				17
課題考査	冬季休業中の課題	文法事項演習、英作文、長文読解問題に取り組む。	○	○			

3 学 期	卒業 考 査	Lesson 9 Suggesting a Solution	・名詞・代名詞 [Writing]				16、 17
		Lesson 10 Talking about the Future	・前置詞・接続詞 [Presentation]	○	○	○	17

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・ 知識「情報や考え、気持ちなどを理由とともに書いて（話して）伝えるために必要となる語句や文法を理解しているか」</p> <p>授業で理解したことを必ず復習し、身に付けていきましょう。</p> <p>・ 技能「情報や考え、意図などを、展開を工夫して、場面や状況に応じて相手に伝えられているか」</p> <p>会話や発表、自由英作文など、場面に応じた英語を使えるようにしましょう。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>各種考査、単元テスト、小テスト、パフォーマンステスト、スピーチ 等</p>	<p>「聞き手（読み手）が理解しやすいように、情報や考え、意図などを理由とともに話して（書いて）伝えているか」</p> <p>ただ英語を話したり書いたりしても、相手に伝わらなければ意味がありません。授業で得たノウハウを用いて、相手の立場になって英語で意見を伝えましょう。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>各種考査、単元テスト、パフォーマンステスト、スピーチ 等</p>	<p>「聞き手（読み手）が理解しやすいように、情報や考え、意図などを理由とともに話して（書いて）伝えようとしているか」</p> <p>ペア活動やグループ活動への取り組みの姿勢、課題提出状況も重要な評価の対象となります。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>各種考査、単元テスト、小テスト、エッセイ、提出物、振り返りシート 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）
<p>【取り組み方について】</p> <p>基本的な取り組み方は、「英語コミュニケーションⅢ」に書いているものと変わりませんが「論理・表現Ⅲ」では、「やり取り」「発表」「書くこと」の3つの技能に焦点を当てて英語力を高めていきます。英語を使って論理的な展開で相手に自分の思いを伝えることや、状況や場面に応じて、正しく意見を伝えることが必要です。主な学習内容としては、文法事項をしっかりと習った後に、エッセイを書いたり、プレゼンテーションをしたり、友人とコミュニケーションをとったりします。どの活動にも、正しい文法を身につけることが必須です。英語で文を作るときには、①まずは自分で考え、②辞書や参考書を見て書き直し、③そして正しい解答を見て理解し、④<u>その英語を使うこと</u>が大切です。たくさん英語を書いて話して失敗をしなければ英語は上達しません。間違いを恐れずに、英語を使ってたくさん発表・表現していきましょう。</p> <p>【成績について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学期ごとの成績は、定期考査の点数を観点別に計算、提出物や学習態度を加えます。 2 リテリングや音読、エッセイやプレゼンテーションなどのパフォーマンスも重要な評価材料です。 3 小テストや単元テスト、日々題への取り組みの積み重ねも非常に重要です。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
英語コミュニケーションⅡ	[外国語]

履修学科	総合学科
履修学年	第3学年
履修単位	2単位
教科書	Amity English Communication II (開隆堂)
副教材	スタディサプリ

科目目標
<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域（以下この節において「五つの領域」という。）別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

学期	考査	単元名（考査範囲）	学習活動	評価の観点			SDGs
				①	②	③	
1学期	課題考査	春季休業中の課題	1、2年生で習った語彙や文法事項の確認をするための課題に取り組み、新教科書でのスタートの準備をする（スタディサプリ）。	○	○		
	期末考査	Lesson 7 Artificial Intelligence Lesson 8 The Mystery of Colors	<ul style="list-style-type: none"> AIロボットの未来 接続詞・前置詞 色の不思議 現在完了・現在完了進行形 	○	○	○	9 11
	課題考査	夏季休業中の課題	文法・語彙の定着を図る。読み物にも触れることで、英語長文を読むスタミナを身に付ける。音読を活用してリスニング、スピーキング力を養う。	○	○		
2学期	中間考査	Lesson 9 Street Performers	<ul style="list-style-type: none"> ストリートパフォーマー 分詞の形容詞的用法、分詞構文 	○	○	○	8
		Lesson 10 The Culture of Selfies	<ul style="list-style-type: none"> 自撮り文化 関係代名詞 	○	○	○	9、11

3 学期	期末 考查	Lesson 11 Finland	・フィンランド ・関係副詞				
	課題 考查	冬季休業中の課題	文法・語彙の定着を図る。読み物にも触れることで、英語長文を読むスタミナを身に付ける。 音読を活用してリスニング、スピーキング力を養う。	○	○		
	学年 末 考查	Lesson 12 In Order to Live a Happy Life	・幸せな人生にするために ・仮定法				

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 知識 「単語・文法・構文を理解しているか」 そのためには、日々の復習が大切です。 技能 「コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題について書かれた（話された）英語を捉え、考えや意図を伝える技能を身に付けているか」 失敗を恐れずに英語を使いましょう。 【評価の対象】 各種考查、単元テスト、小テスト 等 	<p>「コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題について必要な情報を聞き（読み）取り、相手の意図などを捉え、考えや意図を伝えているか」 丁寧に相手に自分の意見を丁寧に伝えること、即興でやりとりすることも大切です。</p> <p>【評価の対象】 各種考查、単元テスト、パフォーマンステスト、プレゼンテーション 等</p>	<p>「社会に目を向け、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、英語を用いようとしているか」 授業態度はもちろん、小テストの点数や課題の提出状況といった学習に取り組む姿勢も評価されます。</p> <p>【評価の対象】 各種考查、単元テスト、小テスト、授業ワークシート、提出物、振り返りシート、ポートフォリオ 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）
<p>[取り組み方について]</p> <p>毎日英語に触れることが、上達への第一歩です。学校で習ったことを家でも復習し、しっかり定着させましょう。英語は量をこなすことも重要ですが、質の良い復習が必須です。音読を習慣にすると、聞く力も話す力も自然と伸びていきます。世界の情勢を英語で追うことも、理解を深める良い方法です。ニュースを英語で聞いたり、英字新聞を読むことで、語彙が増え、読解力も向上します。最後に、積極的に英語で書いたり話したりすることが大切です。間違いを恐れず、どんどん使っていくことで自然とスキルアップします。英語を楽しみながら、積極的に使って、スムーズにコミュニケーションが取れるようになりましょう！</p> <p>[成績について]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学期ごとの成績は、定期考查の点数を観点別に計算、提出物や学習態度を加えます。 2 リテリングや音読、エッセイやプレゼンなどのパフォーマンスも重要な評価材料です。 3 小テストや単元テストでの積み重ねも非常に大事です。